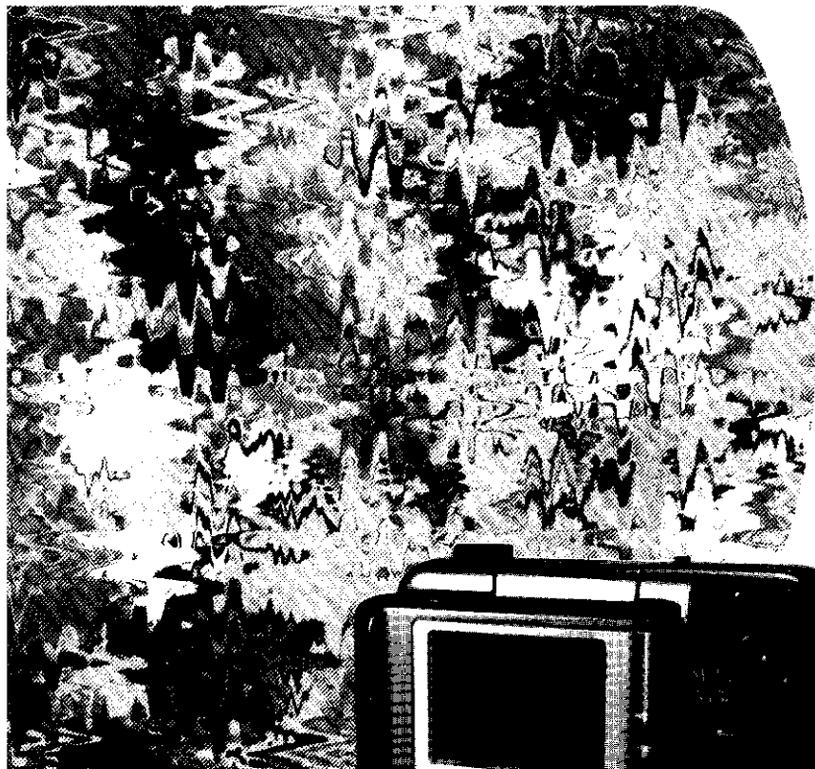


VHS液晶付ビデオカメラ

型名 GR-SV3



準備



基本



応用



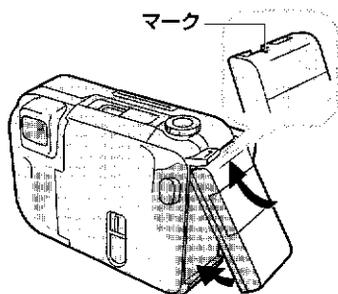
その他

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。そしてお読みになったあとは、後日役に立つことでもありますので、保証書と一緒に大切に保存してください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の底面部の製造番号が正しく記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

いますぐ撮影したい

1 電源の準備

充電したバッテリーをマークを上にしてカチッと音がするまで差し込む



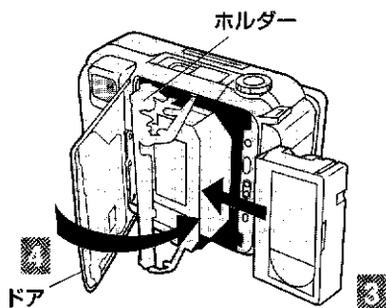
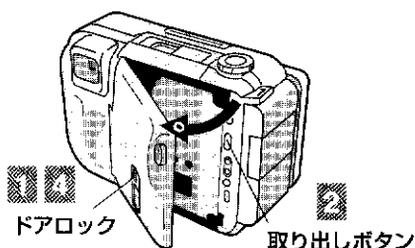
2 テープを入れる

1 ドアロックを '開' にして
ドアを開ける

2 取り出しボタンを押してホルダーをひらく

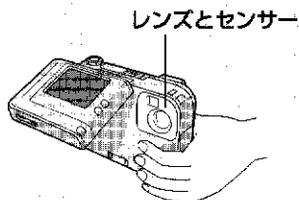
3 テープを入れる

4 ドアを閉めて ドアロックを
'閉' にする

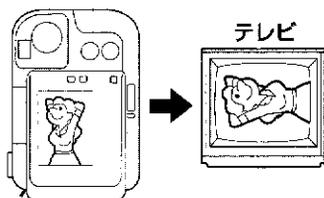


ご注意ください

撮影に必要なレンズやセンサーを、指などでふさがないようにしてください。



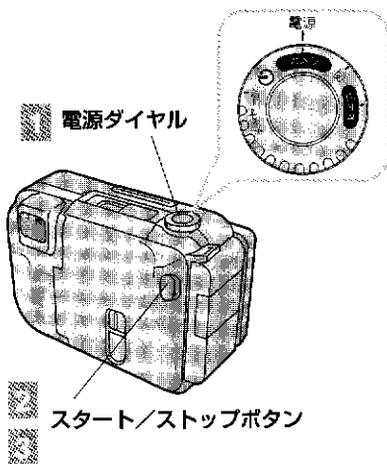
ビデオカメラを図のように立てて撮影すると、再生される映像は横になります。



3

撮る

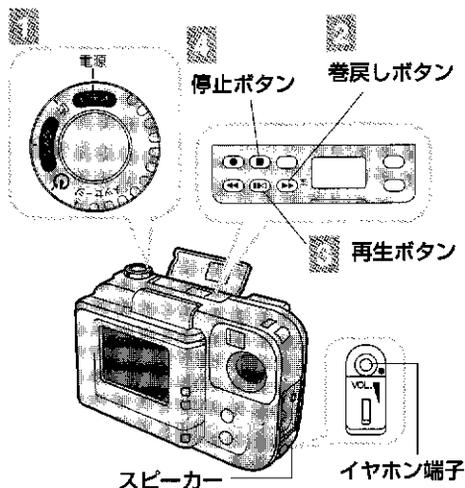
- 1 電源ダイヤルを 'カメラ' にする
- 2 スタート/ストップボタンを押して撮影を始める
- 3 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す



4

液晶モニターで見る

- 1 電源ダイヤルを 'ビデオ' にする
- 2 巻戻しボタンを押してテープを巻戻す
- 3 再生ボタンを押す
●音声はスピーカーまたはイヤホンで聞くことができます。
- 4 再生をやめたいときは、停止ボタンを押す



ご使用の前に

大切な録画の前に

- ※大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- ※万一、ビデオカメラおよびテープ等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合の、内容の補償についてはご容赦ください。
- ※本機はVHS方式のビデオカメラです。VHS® (S-VHS®) マークの付いたコンパクトビデオテープをご使用ください。

リサイクルについて



Ni-Cd

- この製品に使用する電源にはニカド電池があります。ニカド電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換や廃棄の際はリサイクルにご協力ください。
- ※電池の電極間ショート(短絡)防止のため、リサイクルに出す時には絶縁テープで電極をふさいでください。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。)

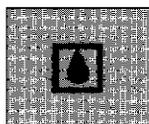
つゆつきについて

つゆつき状態になると、ビデオカメラのドラムにテープが貼り付いて撮影や再生ができなくなります。

こんなときにおこります

- ※寒い所から急に暖かい所に移動したとき。
- ※湿気の多いところでの使用時。
- ※暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたる時。

つゆつき表示



(表示窓内)

表示窓につゆつき表示が出たら、下記の操作をしてください。

- ☒ 電源ダイヤルを「切」にし、数時間待ちます。
- ☒ 電源ダイヤルを「入」にして数分待ち、表示が消えてからご使用ください。

もくじ

準備



タイトル

バッテリーを取り付ける	6
バッテリー以外の電源を使う	7
使いやすくするために	8
テープを入れる	9

基本



さあ、カメラ撮りです!	10
再生する	16
メッセージを伝える	18

応用



テレビ放送を見る	20
テレビやデッキにつなく (ダビング)	24
カメラとして使う	26
デッキとして使う	27
別売リモコンRM-V20を使って	28
リチウム電池 (時計用) を交換する	29
日時を合わせる	30

その他



こんなときは	32
海外でお使いになるには	34
画面と表示窓	35
各部のなまえ	36
主な仕様	39
ENGLISH QUICK OPERATION GUIDE	40
索引	42
必ずお読みください	43

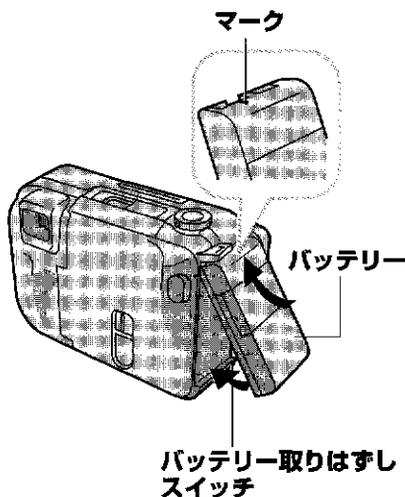
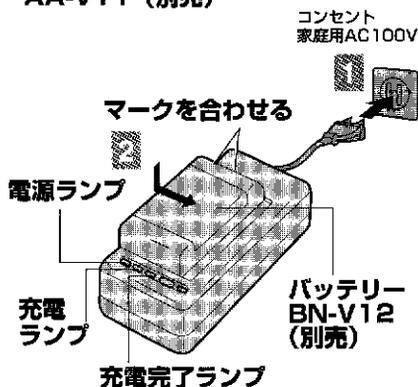
説明書に出てくるマークは

- は知っていると便利な操作や説明です。
- は正しくお使いいただくためのご注意です。
- はその数のページをあわせてご参照ください。

バッテリーを取り付ける

バッテリー（別売）は出荷時は充電されていません。ACパワーアダプターAA-V11（別売）の取扱説明書をご覧ください。

ACパワーアダプター AA-V11（別売）



バッテリーを充電する

1 プラグをコンセントに差し込む

●電源ランプが点灯します。

2 バッテリーを矢印方向に差し込む

●充電ランプが点灯し、充電を始めます。

●充電ランプが消え、充電完了ランプが点灯したら充電完了です。

●取りはずす時は、取り付けたときと逆の方向へバッテリーをスライドさせます。

●電源プラグを抜いてください。

バッテリーを取り付ける

1 充電したバッテリーを、マークを上にしてカチッと音がするまで差し込む

●取りはずす時は、バッテリー取りはずしスイッチをスライドさせます。



バッテリー充電時間の目安表

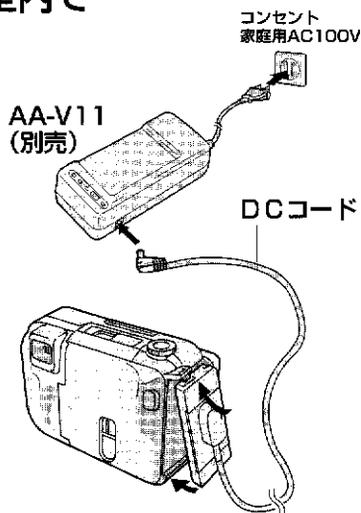
バッテリーパック	充電時間
BN-V12	約1時間10分
BN-V15	約1時間25分
BN-V22	約2時間10分
BN-V25	約2時間40分
BN-V50	約2時間50分
BN-V65	約2時間10分

●ACアダプター AA-V11 使用の場合

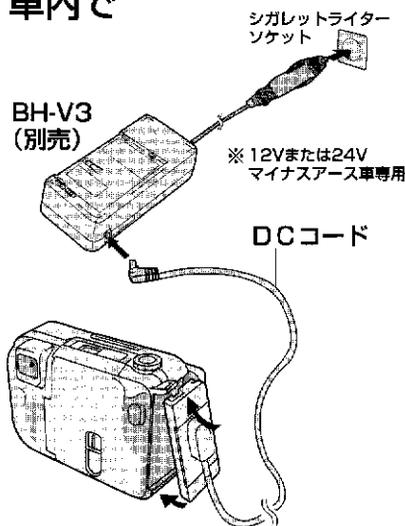
バッテリー以外の電源を使う

室内では ACパワーアダプター AA-V11 (別売) を、車内では カーバッテリーチャージャー BH-V3 (別売) を使って電源の供給ができます。

室内で



車内で



室内で使うとき

ACパワーアダプター AA-V11 (別売) を使って、ご家庭のコンセントから直接電源を利用できます。

- ※バッテリーの充電もできます。
- ※AC (交流) 100~240V、50/60Hz 仕様です。
海外でもお使いになれます。(34)
- ※取り付け/取りはずしは、バッテリーと同じです。

車内で使うとき

カーバッテリーチャージャー BH-V3 (別売) を使って、シガレットライターソケットから直接電源を利用できます。

- ※シガレットソケットにつないで、バッテリーの充電もできます。(BN-V50の充電はできません。)
- ※日本車、米国車、欧州車 対応です。
- ※取り付け/取りはずしは、バッテリーと同じです。
- ※電源供給のみの、カーバッテリーコード AP-V7 (※別売12Vマイナスアース車専用) もあります。

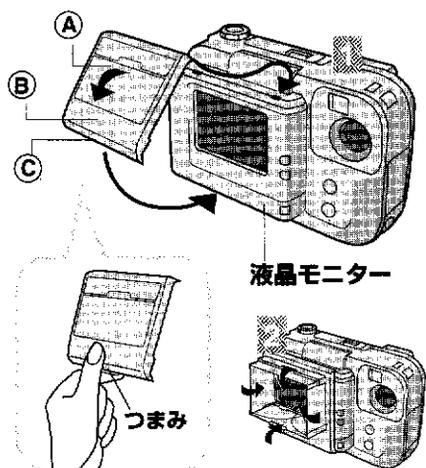


詳しくは、ACパワーアダプター AA-V11 やカーバッテリーチャージャー BH-V3 の取扱説明書をご覧ください。

使いやすくするために

サンフードを使う

光を防ぎ、画面を見やすくします。また、画面の傷つき防止にも役立ちます。



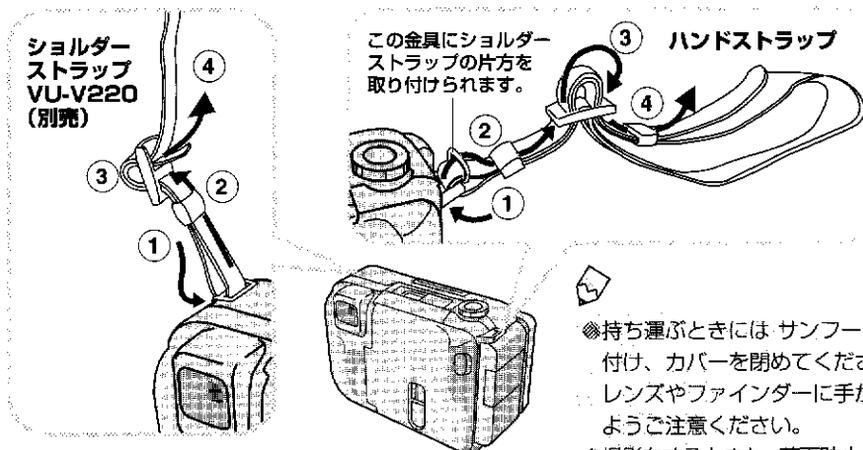
1 サンフードのツメを、液晶モニターの穴に合わせて取り付けます。

2 画面を見るときは (A) を引いて開き、見ないときは、たたんでおいてください。たたみかたは、両サイド→上→下の順です。

※はずすときは、(B) を押さえながら (C) のつまみを下に引っばるようにします。

運ぶときには

落下防止のため、付属のハンドストラップを必ず取り付けて手首に通して運んでください。ストラップが正しくついているか、十分にご確認ください。

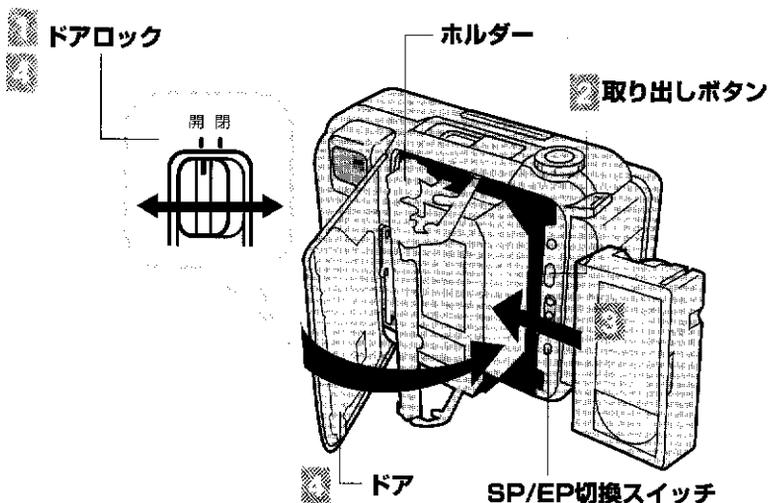


◆持ち運ぶときには サンフード を取り付け、カバーを閉めてください。またレンズやファインダーに手が触れないようご注意ください。

◆撮影をするときも、落下防止のためハンドストラップを手首に通してください。

◆別売のショルダーストラップVU-V220を取り付けると、持ち運びに便利です。

テープを入れる



- 1 ドアロックを「開」にして、ドアを開ける
- 2 取り出しボタンを押して、ホルダーをひらく
- 3 テープを入れる
 ※SP/EP切換スイッチでテープの録画モードを選びます。
- 4 ドアを閉めてドアロックを「閉」にする

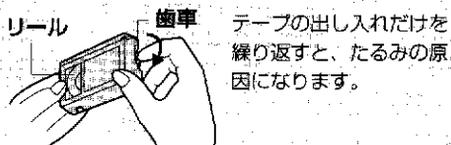


テープの録画モードについて

- ◆SP（標準モード）
画質を重視するときや、編集（ダビング）するときにおすすめします。
- ◆EP（3倍モード）
テープを経済的に使いたいときに、おすすめします。（撮影時間がSP時の3倍になります。）
標準モード専用VHSビデオでは再生できませんのでご注意ください。

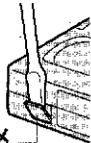


テープのたるみは、テープを傷める原因になります。ご使用前に、リールと一緒に動くまで歯車を矢印方向に回してたるみをなくしてください。



誤って大切な記録を消さないために

ドライバー



ツメ



消去防止用のツメ（フタ）

「ツメ」を折ります。再び撮影するときは、ツメの部分にセロハンテープを二重に貼ります。

「ツメ」の部分がスライド式の場合はOFF側にスライドさせます。撮影するときはON側にしてください。

さあ、カメラ撮りです!

撮影のしかたは3通りあります

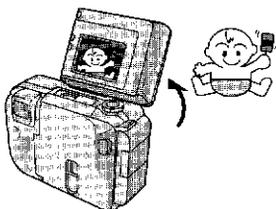
A

ファインダーを
見ながら撮影
(11)



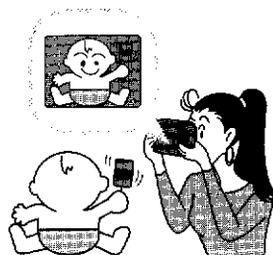
B

液晶モニターを
見ながら撮影
(12)



C

液晶モニターを
見せながら撮影
(13)



より安定した撮影のためには
姿勢が大切です



低い位置の撮影

壁や柱によりかかり
安定させる



左手もビデオカメラ
にそえる



わきをしめる

足は少し開き
しっかり構える



ピントの合う範囲

ズームアップ（望遠側）で約1.3m以上、ズームバック（広角側）で約40cm以上、被写体から離れて撮影してください。

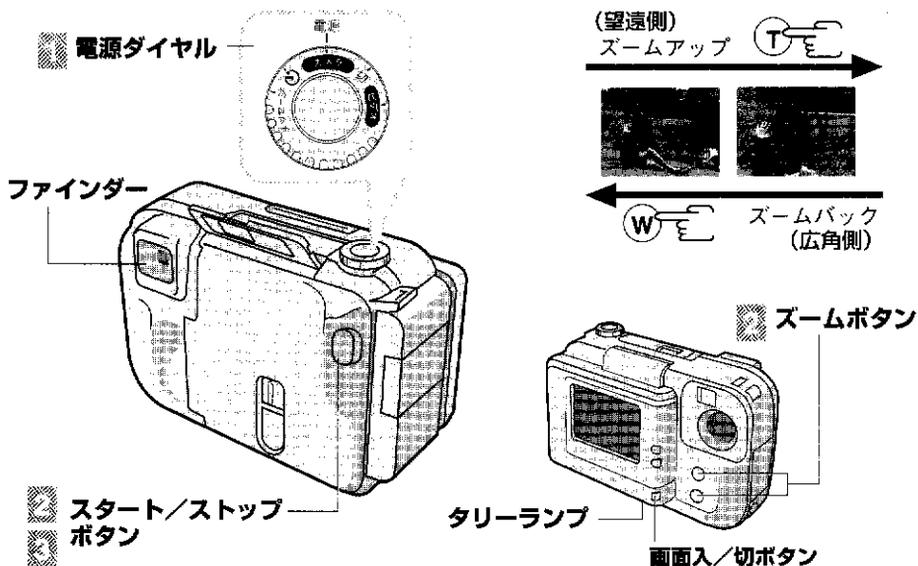
次の撮影まで時間があくときは

※電源をこまめに切りましょう。バッテリーの消耗を防ぎます。

※撮影一時停止を約5分以上続けると、節電のため自動的に電源が切れます。撮影を続けたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押してください。撮影一時停止の状態に戻ります。

テープの途中から撮影するときには

テープの位置がずれて、再び撮影するときに前の記録が消えることがあります。リテイクやブランクサーチ（15）で、撮り始めたいところを頭出ししてから、撮影を始めてください。



A. ファインダーを見ながら撮影する

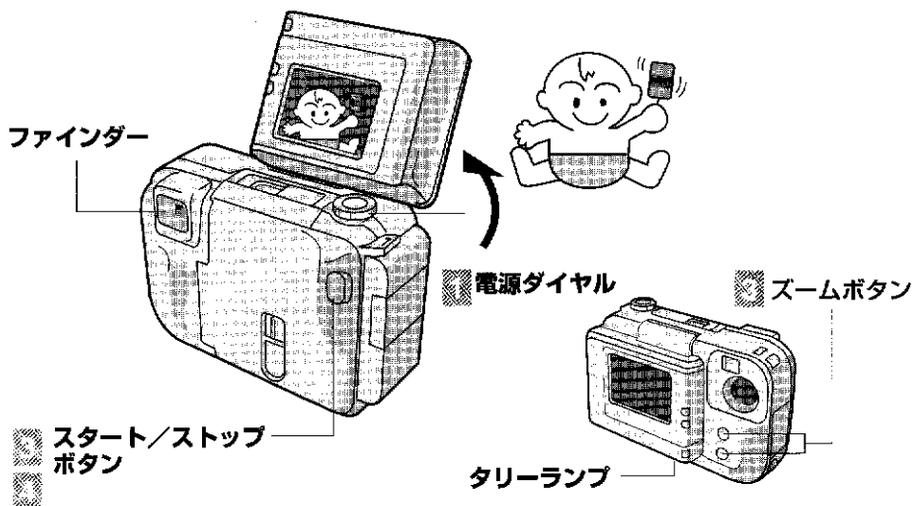
- 1 電源ダイヤルを 'カメラ' にする
- ※ファインダー内の緑ランプが点灯し、撮影一時停止状態になります。

- 3 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す
- ※撮影一時停止になります。

- 2 スタート/ストップボタンを押して撮影を始める
- ※タリーランプと、ファインダー内の赤ランプが点滅し、点灯に変わります。
 - ※日付が変わったとき、またテープを入れかえて最初に録画スタートするとき、約4秒間、自動的に日付を記録します。
 - ※ズームボタンで、被写体のズームアップ/ズームバックができ、映像に変化を付けることができます。

- 液晶モニターを使わないときは節電のため、画面入/切ボタンを押して画面を切っておきましょう。

さあ、カメラ撮りです！（つづき）



Ｂ．液晶モニターを見ながら撮影する



電源ダイヤルを 'カメラ' にする

- ※ファインダー内の緑ランプが点灯し、撮影一時停止状態になります。



液晶モニターを手前に起こす

- ※自動的に画面が回転し、被写体を液晶モニターで見ながら撮影することができます。



スタート/ストップボタンを押して撮影を始める

- ※タリーランプと、ファインダー内の赤ランプが点滅し、点灯に変わります。
- ※日付が変わったとき、またテープを入れかえて最初に録画スタートするとき、約4秒間、自動的に日付を記録します。
- ※ズームボタンで、被写体のズームアップ/ズームバックができ、映像に変化を付けることができます。

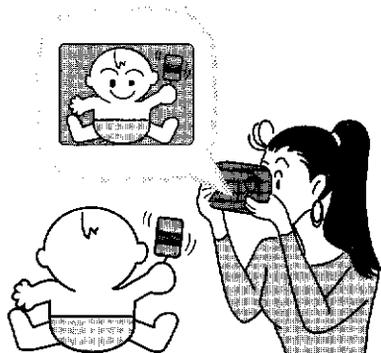


撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す

- ※撮影一時停止になります。

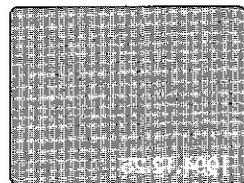
液晶モニターを起こしたり、戻したりするときは、撮影を一時停止してください。モニターの影響が映ってしまいます。

C. 液晶モニターを見せながら撮影する (対面撮影)



撮られる人に、画面を見せながら撮影することができます。(液晶モニターと向かい合って、画面を見ながら、自分を撮ることもできます。)

- ◆撮影手順は、左ページと同じです。液晶モニターを起す必要はありません。
- ◆液晶モニターは、鏡を見るような感覚で映ります。
- ◆日付表示は左右反転して画面に表示されますが、記録上は反転しません。



車の中での撮影

液晶モニターの画面を見ながら、車の運転はしないでください。非常に危険です。また、車内にビデオカメラを放置しないでください。故障の原因になります。

液晶モニターの画面入/切

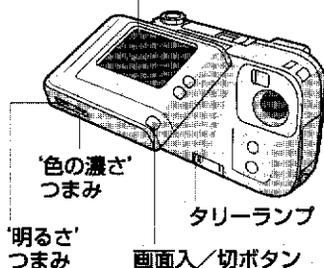
液晶モニターを消すとバッテリーが長持ちします。液晶モニターを見ながら撮影する必要のないときは画面入/切ボタンで画面を消しておくことをおすすめします。もう一度、画面入/切ボタンを押せば、画面がでます。

液晶モニターの取り扱い

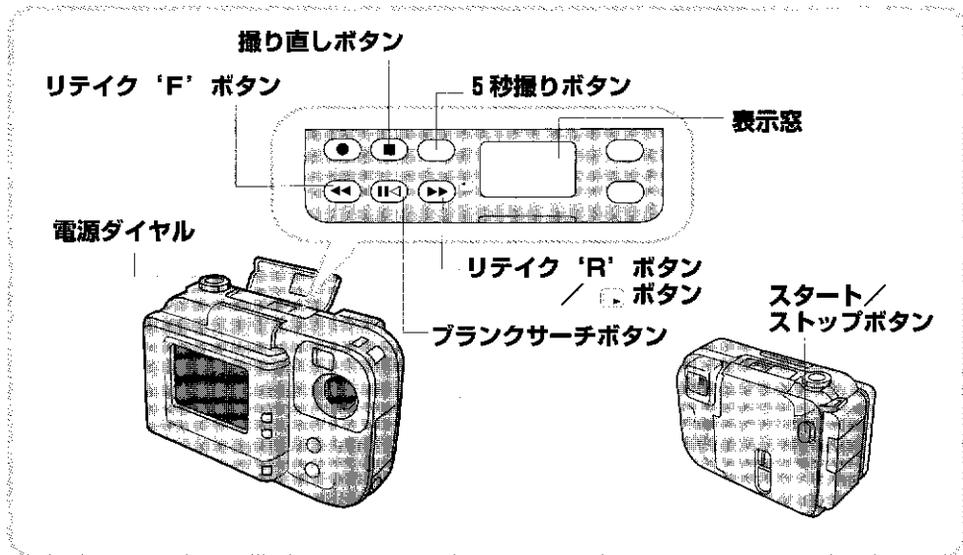
傷つきやすいものですので、表面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。また、画面側を下に向けて置かないようにしてください。

液晶モニターを見やすくするには角度調節をしたり、底面部の「明るさ」「色の濃さ」のつまみを調節します。

液晶モニター



さあ、カメラ撮りです！（つづき）

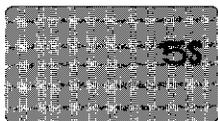


5秒撮りモード

旅先などでの記念撮影、風景や名所の記録などを、5秒間ずつの映像と音声で残せます。スナップ感覚の新しい撮り方を楽しめます。

1 電源ダイヤルを 'カメラ' にする

2 '5秒撮りボタン' を押す
●表示窓に '5S' の表示がでます。



2 スタート/ストップボタンを押す

●タリーランプが点灯して5秒間の撮影をし、撮影一時停止になります。5秒以内にスタート/ストップボタンを押しても撮影は停止しません。必ず5秒間は撮影します。

4 通常のカメラ撮りに戻したいときは、もう一度 '5秒撮りボタン' を押す



5秒以上撮影を続けなくなったときは撮影中、または最初から、5秒以上スタート/ストップボタンを押し続けます。

スタート/ストップボタンを押している間は撮影を続けることができます。

5秒撮りモードとセルフタイマーの組み合わせ

5秒撮りボタンを押してから電源ダイヤルを

☺にすると、5秒ごとのセルフタイマー撮影ができます。撮影後、通常のカメラ撮りに戻したいときは、電源ダイヤルを 'カメラ' に戻してください。

セルフタイマー



電源ダイヤルを '☺' にする

- ◆ファインダー内の緑ランプが点灯し、撮影一時停止になります。



スタート/ストップボタンを押す

- ◆タリールランプとファインダー内の赤ランプが点滅し、約15秒後に点灯にかわって撮影を開始します。



撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す

- ◆撮影一時停止になります。



通常のカメラ撮りに戻したいときは、電源ダイヤルを 'カメラ' にする



撮影の確認 (クイックレビュー)

撮影一時停止で (●) ボタンをポンと押すと、最後のシーンを約2秒間再生し、液晶モニターで撮影の確認ができます。確認が終わるともとの状態に戻ります。

- ・表示窓に **II●** が点滅します。

撮影済みテープの途中から撮る (リテイク)

撮影中失敗したなと思ったときや、テープ途中から録画するとき、ボタン1つで撮り始めたいところを探せます。

1. 撮影一時停止の状態、リテイクR (逆転再生) ボタンか、F (正転再生) ボタンを押し続けます。
 - ・撮影の確認は、液晶モニターでおこなってください。
 - ・リテイク中、映像が乱れることがあります。が故障ではありません。
2. 撮り直したいところでボタンから指を離します。
 - ・撮影一時停止に戻ります。

すぐに撮り直したいときは (撮り直し)

撮影中失敗したなと思ったとき、1つ前の撮り始めまで戻ることができます。

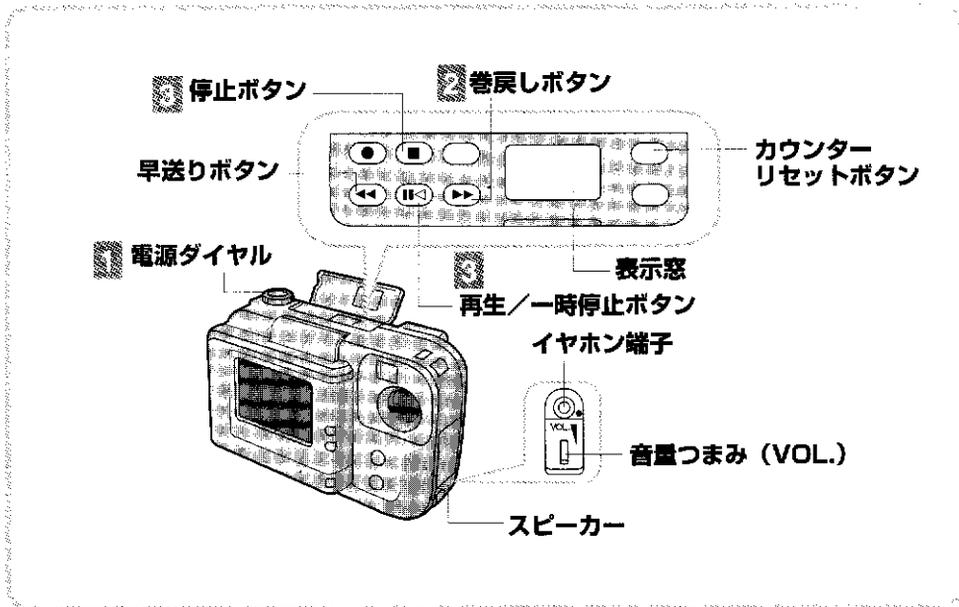
- ◆記録をやめた後の、撮影一時停止の状態、撮り直しボタンを押します。
 - ・表示窓に **■** が点滅します。
 - ・1つ前の撮り始めまで戻り、撮影一時停止になります。
 - ・記録をやめた後、電源を切ったり、リテイクボタンを押して編集点を変えると、この機能は動きません。
 - ・撮り直したあとの編集点で、映像が乱れることがあります。が故障ではありません。

テープの無記録部分をさがす (ブランクサーチ)

- ◆撮影一時停止の状態、ブランクサーチボタンを押します。
 - ・表示窓に **▶▶** が点滅します。
 - ・テープの無記録部分の前で撮影一時停止になります。
 - ・無記録部分がない場合は、テープの終わりで止まります。
 - ・途中で解除したいときはもう一度ブランクサーチボタンを押します。
 - ・ブランクサーチしたあとの編集点で、映像が乱れることがあります。が故障ではありません。

再生する

撮影した映像を、液晶モニターで見ることができます。音声はスピーカーまたはイヤホンで聞くことができます。音量は「音量つまみ」で調節します。



1 電源ダイヤルを「ビデオ」にする

2 「巻戻しボタン」を押してテープを巻戻す

3 「再生ボタン」を押す
●再生をやめたいときは「停止ボタン」を押します。

テープの早送り/巻戻し
停止ボタンを押してから、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押します。
テープの初めや終わりまで早送りや巻戻しをすると自動的に停止します。

早送り/巻戻ししながら見る
●再生中に、早送りボタンまたは巻戻しボタンをポンと一度押すと、高速再生します。
見たいシーンで再生ボタンを押してください。通常再生になります。
●指を離さずに、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続けると、高速で再生します。
見たい場面で指を離せば、通常再生になります。

テープの走行量を時間で確認する



表示窓
テープカウンター
時：分：秒

録画、または再生途中で 0:00:00 に戻すにはカウンターリセットボタンを押してください。

- ※カウンター値は、無記録部分では変わりません。
- ※テープを取り出すと、0:00:00 に戻ります。
- ※0:00:00を越えて巻戻すと、-が表示されます。

再生画を一時止めるには（静止画再生）

- ※再生中に一時停止ボタンを押します。再生に戻りたいときは再生ボタンを押します。
- ※一時停止を約5分以上続けると、テープ保護のため自動的に電源が切れます。

高速再生/静止画再生中は

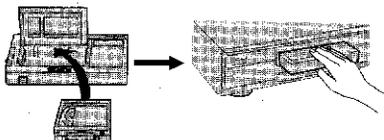
- ※画面にノイズがでますが故障ではありません。特にSP（標準）モードの場合はノイズが多くなります。
- ※音声はできません。

音声について

- ※イヤホンを使うときは、イヤホン端子のキャップを取りはずしてください。
- ※イヤホンをかしているときはスピーカーから音声はできません。
- ※音声はモノラルです。

VHS-Cテープをデッキで見るとは

カセットアダプター C-P6（別売）を使えば、そのままデッキで見ることができます。



画面にノイズが出てきたら



このビデオカメラはオートトラッキング機能付きです。トラッキングは自動的に合い、ノイズは取り除かれますが、合いにくい場合は以下のように手で調節してください。

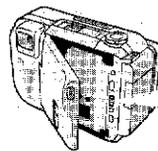
- 1.再生中、トラッキングボタンの '+' と '-' を同時に押して、オートトラッキングを解除します。

- ・表示窓から 'AT' 表示（オートトラッキング表示）が消えます。



'AT' 表示
（オートトラッキング表示）

表示窓



トラッキング
ボタン

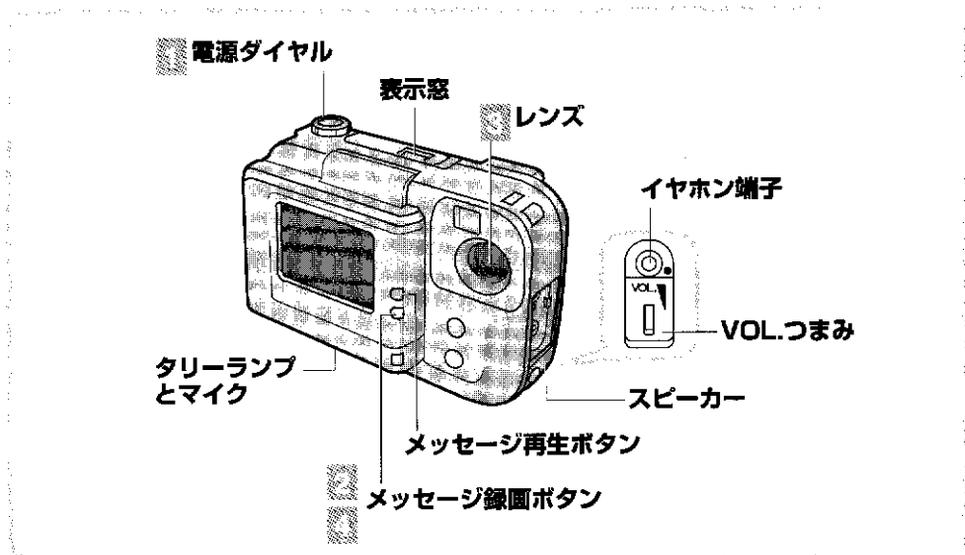
- 2.トラッキングボタン '+' または '-' を押して、画面がよくなるよう調節します。

- ※オートトラッキングの状態に戻すときは、トラッキングボタンの '+' と '-' を同時に押してください。

- ・表示窓に 'AT' 表示（オートトラッキング表示）が出ていることを確認してください。
- ※他のビデオで録画されたテープは、十分に調節できないことがあります。

メッセージを伝える

家族への伝言、ビデオレター作りなど、コミュニケーションに役立つ機能です。



メッセージを入れる

1 ACパワーアダプター（別売）を接続し、テープを入れ 電源ダイヤルを「メッセージ」にする

- 撮影一時停止状態になります。
- 映像は、自動的にズームバック状態（広角側）になります。

2 「メッセージ録画ボタン」を押す
●タリーランプが赤く点滅し、点灯が変わって撮影が始まります。（タリーランプが点灯になったことを確認してください。）

3 メッセージを話す
●メッセージの始めに4秒間、自動的に日付、時刻が記録されます。（画面には左右反転して表示されますが、記録上は反転しません。）「日付確認ボタン」は働きません。
●レンズを見ながら話すと、より自然な映像になります。

4 メッセージが終わったら、もう一度「メッセージ録画ボタン」を押す

- 撮影一時停止になり、自動的に画面が消えタリーランプは緑色に点滅します。そのままの状態でおきましょう。
- 続けてメッセージをいれるときは [] から [] を繰り返してください。（最大30件、またはテープが終わるまで入れることができます。）



電源はAC/パワーアダプターをお使いください。バッテリーを使用する場合、充電容量が切れるとメッセージの再生ができなくなります。短時間であれば、バッテリーでもお使いになります。

メッセージを見る

‘メッセージ再生’ ボタンを押す

- ※タリーランプが緑色に点灯し、最初のメッセージの頭まで巻き戻して再生を始めます。
- ※すべてのメッセージの再生が終わると、自動的に画面が消え、タリーランプは緑色の点滅に戻ります。
(メッセージ再生が終わった時点で、画面は消えています。電源は入ったままになっています。もう見ないメッセージの場合は、電源を切ってください。)



電源ダイヤルが‘メッセージ’のときは

- ※SP/EP切換スイッチの位置に関係なく映像はSP(標準モード)で記録されます。
- ※画面入/切ボタンは、働きません。
- ※テープの取り出しボタンや巻戻し、早送りなどは、働きません。

メッセージ録画は余裕をもって

メッセージ再生を何度も繰り返したり、メッセージ件数が多いとき、メッセージの最後が再生できなくなることがあります。メッセージは、話し終わったあとに数秒間、余裕をもって録画してください。

メッセージを見のがしてしまったら

メッセージ再生中にメッセージ再生ボタンを押すと、そのメッセージの頭へと戻ります。繰り返し押せば、1つずつ前のメッセージの頭へと戻ることができます。

メッセージを繰り返し見るには

再生終了後、もう一度メッセージ再生ボタンを押せば、繰り返し見ることができます。

音声について

スピーカーまたはイヤホンで聞くことができます。音量は、音量つまみで調節します。

メッセージの件数を確かめる

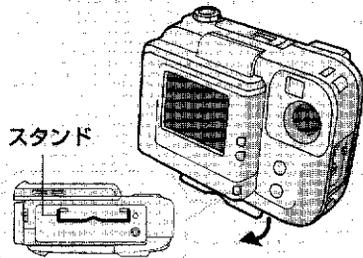
表示窓にメッセージの件数が表示されます。

メッセージ再生ができなくなる

- 次のようなとき、メッセージ再生ができなくなります。
- ※電源ダイヤルを‘メッセージ’から動かしたとき。
- ※電源を取り外したとき。
- ※電源を取り外したとき、など、その他メッセージ再生ができない場合は通常の再生(再生)をしてご覧ください。

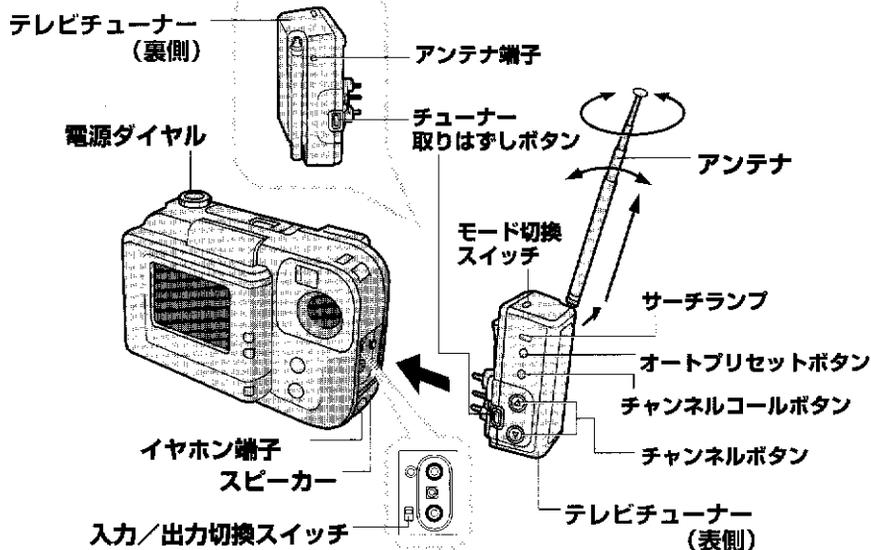
液晶モニターを見やすくするには

液晶モニターの角度調節を行ない、安定が悪いようであれば、ビデオカメラの底面にあるスタンドを起こしてください。



テレビ放送を見る

付属のテレビチューナーTU-V20を使い、テレビ放送を見たり、録画したりすることができます。音声はスピーカーまたはイヤホンで聞くことができます。



テレビチューナーを取り付ける

 入力/出力切換スイッチを入力にする

 テレビチューナーを取り付けアンテナを引き出す

※取りはずすときは、「チューナー取りはずしボタン」を、表側と裏側、同時につまんで、取り付けたときと逆の方向へ引きます。



- ※このテレビチューナーは、GR-SV3専用です。
- ※テレビチューナーをご使用にならないときは、はずしておいてください。
- ※取り付けしたチューナーの部分を持って、ビデオカメラの持ち運びをしないでください。
- ※テレビチューナーを接続しているとき、リモコン (RM-V20 別売) は使えません。
- ※アンテナはていねいに扱ってください。収納するときは、太い方から順番におこないます。
- ※人ごみでの、アンテナの使用は危険です。
- ※外部アンテナを使いたいときは、アンテナコード VX-25A (別売) や市販のアンテナ変換器などを、アンテナ端子に接続してください。このときテレビチューナーについているアンテナは効かなくなります。
- ※専用のダイバーシティアンテナは使えません。

チャンネルを設定する (オートプリセット)

いつもテレビを見ている場所のチャンネルを、記憶させておきます。(最大12局)

1 ビデオカメラの電源ダイヤルを 'ビデオ' にする

2 モード切換スイッチを 'オートプリセット' にする

3 'オートプリセットボタン' を押す

- ※サーチランプが点灯し、自動的に受信できるチャンネルを探して記憶します。
- ※記憶し終わるとチャンネル番号の一番小さい番組が映り、記憶したチャンネルの一覧が約10秒間表示されます。
- ※記憶されたチャンネルが12局に達しないときは '—' が表示されます。



チャンネル番号一覧 (一例)



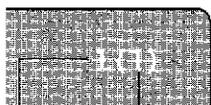
今見ているチャンネルを確かめるには、モード切換スイッチをオートプリセットにし、チャンネルコールボタンをポンと押すと、液晶モニターに映っているチャンネルの番号が表示されます。

チャンネルの一覧を見たいときには、チャンネルコールボタンを押しつづけるとチャンネルの一覧が約10秒間表示されます。すぐに表示を消したい場合は、もう一度チャンネルコールボタンを押してください。

チャンネルの受信について

- ※受信チャンネルは放送局以外の電波でも記憶されることがあります。このとき画面がノイズ状態であらわれますが、故障ではありません。
- ※選局はVHF1~12、UHF13~62の間ででき、チャンネル番号は受信した放送局のチャンネルがそのまま表示されます。
- ※オートプリセットボタンを押しても、全くチャンネルを受信できない場合は、前回の記憶内容が表示されます。

テレビ放送を見る



プリセット番号 チャンネル番号

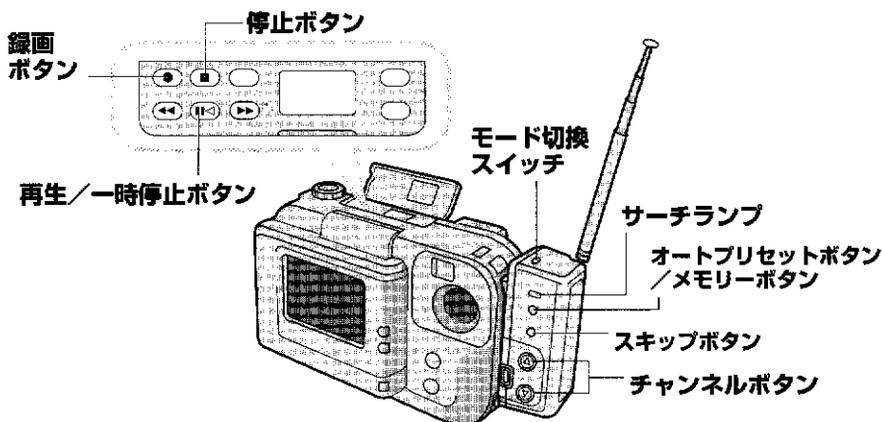
'チャンネルボタン' **Ⓐ** **Ⓞ** を押して見たいチャンネルに合わせる

- ※約5秒間、画面の右上にプリセット番号とチャンネル番号を表示します。



車などの運転中は、テレビを見ないでください。非常に危険です。

テレビ放送を見る (つづき)



旅行先でテレビ放送を見る (サーチ)

記憶してあるチャンネルに関係なく、旅行先のテレビ放送を見ることができます。



ビデオカメラの電源ダイヤルを 'ビデオ' にする



モード切換スイッチを 'サーチ' にする



サーチランプが点灯するまで 'チャンネルボタン' $\text{\textcircled{A}}$ $\text{\textcircled{V}}$ を押す

- ※サーチ中は、映像と音声はできません。
- ※サーチランプが消え、自動的に探したチャンネルの映像とチャンネル番号がでます。
- ※放送のあるチャンネルを受信することができなかったときは、サーチを始める前の状態に戻ります。



繰り返し 'チャンネルボタン' $\text{\textcircled{A}}$ $\text{\textcircled{V}}$ を押し、見たいチャンネルを選ぶ



テレビを録画する

- ※ビデオカメラにテープを入れ、録画したいチャンネルを選び、録画ボタンを押します。
- ※録画をやめたいときは、停止ボタンを押します。

テレビ録画中の注意

- ※番組録画中チャンネルボタンを押すと、チャンネルが変わり画が乱れます。また、チャンネル番号などが画面に表示されている場合、その表示も録画されますのでご注意ください。
- ※電波の状況により、うまく録画できないこともあります。

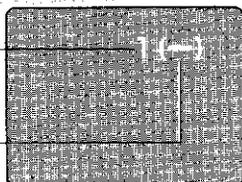


必要のないチャンネルを削除する（スキップ）

1. モード切換スイッチを「オートプリセット」にし、チャンネルボタン   で削除したいチャンネルのプリセット番号に合わせます。
2. モード切換スイッチを「マニュアルプリセット」にし、スキップボタンを押します。
※チャンネルは削除され、表示が「(-)」になります。

プリセット番号

チャンネル番号



3. モード切換スイッチを「オートプリセット」に戻します。

設定したチャンネルを変更する

1. モード切換スイッチを「オートプリセット」にし、チャンネルボタンで変更したいチャンネルのプリセット番号に合わせます。
2. モード切換スイッチを「マニュアルプリセット」にします。
※チャンネル番号が点滅します。



3. チャンネルボタン   を押して、変更したいチャンネルを選びます。（状態によってはチャンネルがでないこともあります。）
※選んだチャンネル番号が点滅します。
4. メモリーボタンを押し、モード切換スイッチを「オートプリセット」に戻します。

チャンネルを追加する

あいているプリセット番号に、必要なチャンネルを追加することができます。

1. モード切換スイッチを「オートプリセット」にし、チャンネルボタンで追加したい場所のひとつ手前のプリセット番号に合わせます。（チャンネル番号が「(-)」の場合、「オートプリセット」の状態では、そのチャンネルをスキップしてしまうため、ひとつ手前のチャンネルに合わせて、その次の場所を位置決めします。）
2. モード切換スイッチを「マニュアルプリセット」にします。
※チャンネル番号が点滅します。



表示例（プリセット番号9にチャンネルを追加したい場合）

3. ひとつ手前のチャンネル（表示例の場合 42チャンネル）を消すわけではないのでメモリーボタンを押し、点滅をとめます。
4. チャンネルボタン  を押し、プリセット番号が一つ進みます。
※チャンネル番号が「(-)」になり、点滅します。

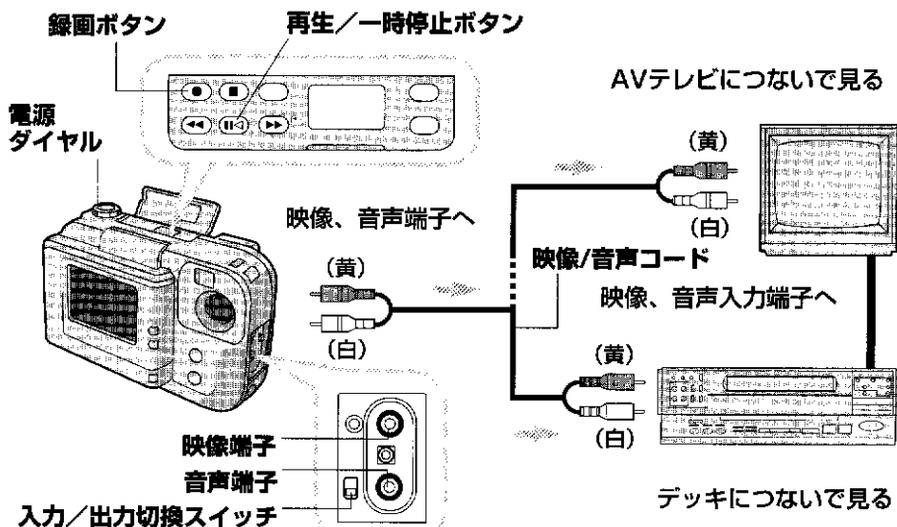


5. チャンネルボタン   を押して、追加したいチャンネルを選びます。（状態によってはチャンネルがでないこともあります。）
※選んだチャンネル番号が点滅します。
6. メモリーボタンを押し、モード切換スイッチを「オートプリセット」に戻します。

設定が終わったあとで

チャンネルの設定が終わったあとで、オートプリセットボタンを押すと、新たに設定が書き換えられてしまいます。ご注意ください。

テレビやデッキにつなぐ



AVテレビにつないで見る

テレビに映像/音声入力端子がある場合（AVテレビ）、付属の映像/音声コードを使って見ることができます。お使いのテレビの取扱説明書もお読みください。

1 ビデオカメラの、入力/出力切
換スイッチを出力にする

2 ビデオカメラとテレビをつな
ぎ、テレビの電源を入れる

3 テレビの入力を、ビデオカメ
ラをつないだ端子に切りかえ
る
(例 ビデオ1、ビデオ2、ムー
ビーなど)

4 ビデオカメラの電源ダイヤル
を‘ビデオ’にし、‘再生ボタ
ン’を押す

※再生をやめたいときは、‘停止ボタン’
を押します。



テレビに映像/音声入力端子がない
RFユニットRF-V5(別売)をお使いください。
詳しくはRFユニットの取扱説明書をご覧ください。

デッキにつないで録る(ダビング)

ビデオカメラをデッキにつないで、他のテープにダビングすることができます。お使いのテレビやデッキの取扱説明書もお読みください。

1 ビデオカメラの入力/出力切換スイッチを出力にし、デッキとつなぐ

2 デッキ、テレビの電源を入れ、テレビはいつもビデオを見ているチャンネルにする

3 デッキの入力を外部入力モードにする

4 ビデオカメラの電源ダイヤルを‘ビデオ’にし、‘再生ボタン’を押す

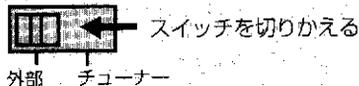
※再生をやめたいときは、‘停止ボタン’を押します。

5 録画をする場合は、デッキに記録するテープを入れ、デッキの録画操作をする

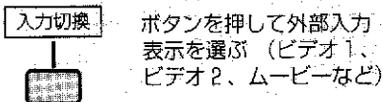


デッキを外部入力にするにはデッキによって違いますので、お使いになるデッキの取扱説明書と下の例を見ながら、行なってください。(ビデオカメラからの映像と音声が出るようにしてください。)

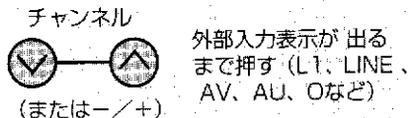
例1 スライドスイッチで切り換えるタイプ



例2 入力切換ボタンのタイプ

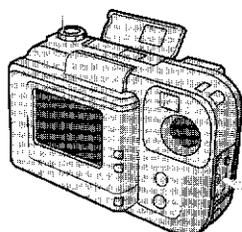


例3 チャンネルボタンで切り換えるタイプ



カメラとして使う

電源ダイヤル



映像、音声端子へ

(黄)



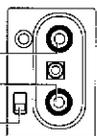
(白)



映像端子

音声端子

入力/出力切
換スイッチ



ビデオカメラからの映像が映ります。

映像/音声コード

(黄)



(白)



映像、音声入力端子へ



カメラとしてデッキで録る

ビデオカメラを通した映像をテレビに映し、デッキで記録することができます。お使いのテレビやデッキの取扱説明書もお読みください。

1 ビデオカメラの入力/出力切
換スイッチを出力にし、デッ
キとつなぐ

2 デッキ、テレビの電源を入れ、
テレビはいつもビデオを見て
いるチャンネルにする

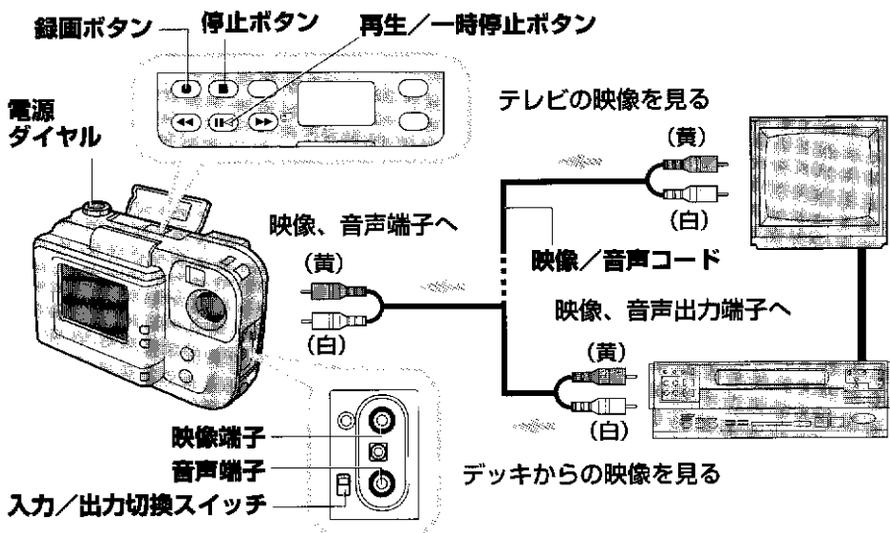
3 デッキの入力を外部入力モー
ドにする (25)

4 ビデオカメラに、テープを入
れずに電源ダイヤルを 'カ
メラ' にする

5 デッキに記録するテープを入
れ、録画操作をする

※テレビに、ビデオカメラからの映像と
音声が出ます。

デッキとして使う



デッキやテレビからの映像を見る/録る

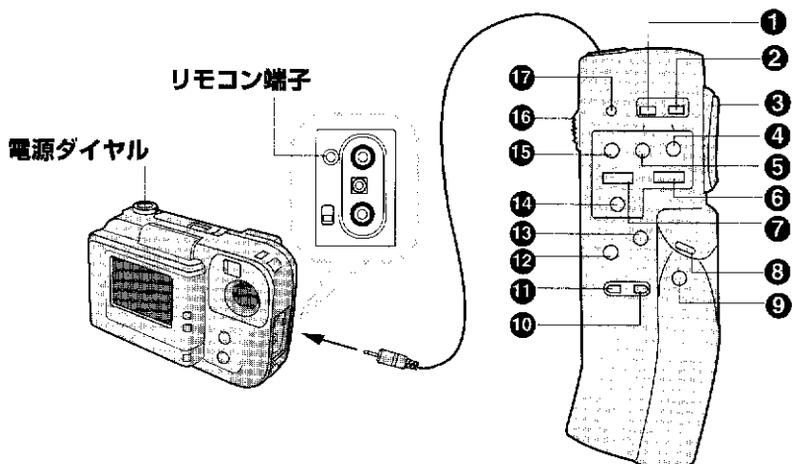
- 1 ビデオカメラの入力/出力切換スイッチを入力にし、デッキやテレビとつなぐ
- 2 ビデオカメラの電源ダイヤルを「ビデオ」にし、デッキやテレビの電源を入れる (録画済みのテープを見るときはデッキを再生にする)
 - ビデオカメラの液晶モニターに映像が映ります。
- 3 録画をする場合は、ビデオカメラにテープを入れ、「録画ボタン」を押す
 - 録画を一時停止したいときは、「再生/一時停止ボタン」を押し、また始めるときはもう一度「再生/一時停止ボタン」を押します。
- 4 録画をやめたいときは、ビデオカメラの「停止ボタン」を押す



- お使いのテレビやデッキの取扱説明書も、お読みください。
- 電源はACパワーアダプターを使うことをおすすめします。
- 電源ダイヤルがビデオのときは、撮り直しやブランクサーチ (15) は動きません。

別売リモコンRM-V20を使って

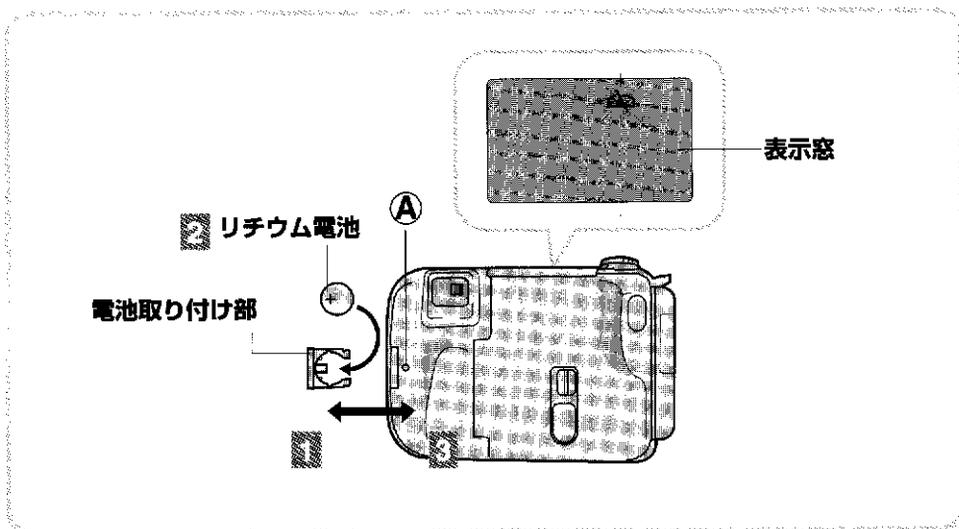
別売のリモコン RM-V20 をつないで、ビデオカメラを操作することもできます。
RM-V20の取扱説明書もお読みください。



リモコンのボタン (名称)	各操作ボタンのはたらき	
	電源ダイヤルが 'カメラ' / '📷' のとき	電源ダイヤルが 'ビデオ' のとき
① 電源 (切)	電源 '切'	
② 電源 (入)	電源 '入'	
③ズームスイッチ	ズーム T (望遠側) / W (広角側)	
④ 早送り/リテイク	リテイクF (正転再生)	早送り
⑤ 巻戻し/リテイク	リテイクR (逆転再生) / 🔄 (クイックレビュー)	巻戻し
⑥ 再生	—	再生
⑦ 停止	撮り直し	停止
⑧ スタート/ストップ	録画/録画一時停止	—
⑨ VISS	—	—
⑩ インターバル (セルフタイマー)	—	—
⑪ 録画タイム (アニメ)	—	—
⑫ インサート	—	—
⑬ アフレコ	—	—
⑭ 一時停止/静止/ リハーサル	—	一時停止
⑮ 録画	—	録画 (再生ボタンと同時押し) / 録画一時停止 (一時停止ボタンと同時押し)
⑯ キーロックスイッチ	スライドさせると、リモコンのボタンをさわっても動作しません。	
⑰ 送信ランプ	各操作ボタンを押すと、赤く点滅します。	

リチウム電池(時計用)を交換する

日付、時刻の記憶を保つために必要です。お買い上げ時は、すでに取り付けられています。電源ダイヤルを「切」以外にしたとき、表示窓に  表示が出たら交換してください。



1 ①の穴にペン先などを差し込み、押しながら電池取り付け部を矢印方向へ引き出す

2 リチウム電池を上の方のように、+側を手前にして入れる

3 電池取り付け部を差し込む
●交換後は日時を合わせ直すことをおすすめします。(39)



電池を交換する時期は
●リチウム電池の寿命は約1年です。お買い上げ時に取り付けられているのは、サービス電池ですので、1年もたないことがあります。
●電池の容量が無くなると、電源ダイヤルを「切」以外にしたとき、表示窓の  表示が5秒間点滅し、その後点灯します。また、電源ダイヤルを「カメラ」にしているときはファインダー内の緑ランプが点滅します。

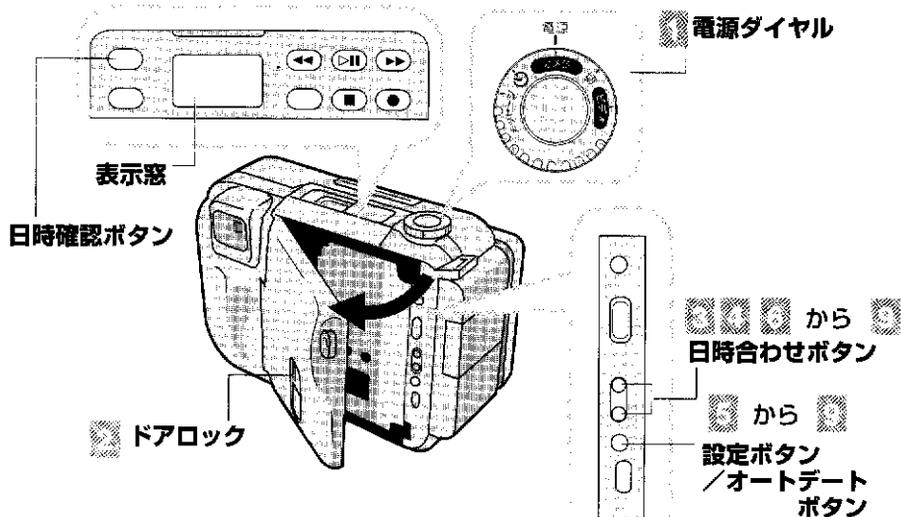
電池を交換するときは
●バッテリーをつけたままで交換すると、設定してある日付を消さなくとも済みます。
●CR2025リチウム電池を、最寄りの電気店またはカメラ店でお求めください。
●大切な記録のために(添付物)の注意文もよくお読みください。

ご注意ください
電池は幼児の手の届かない所においてください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。

毒性等に関するお問い合わせ先
筑波中毒110番 TEL 0298-52-9999
大阪中毒110番 TEL 06-871-9999

日時を合わせる

撮影中に日付が変わったとき、またテープを入れかえて最初に録画スタートするときに約4秒間、自動的に日付を記録します。お買い上げ時は、すでに日時を合わせてあります。



1 電源ダイヤルを 'カメラ' にする

2 ドアロックを '開' にして、ドアを開ける

3 日時合わせボタンの+と-を同時に押す

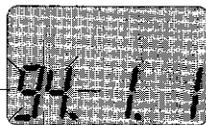
※始めに年の表示が点滅します。



表示窓

4 日時合わせボタンの、+または-のどちらかを押して年の表示をあわせる

- ※年の表示が点滅します。
- ※年は西暦の下2ケタで入力します。(画面上は、4ケタになります。)



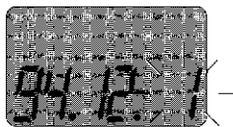
5 設定ボタンを押して決定する

- ※年の表示の点滅が止まり、月の表示が点滅します。



6 年と同じように、月の表示を合わせ、設定ボタンを押して決定する

- 月の表示の点滅が止まり、日の表示が点滅します。



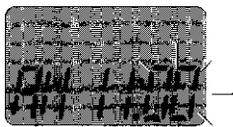
7 月と同じように、日の表示を合わせ、設定ボタンを押して決定する

- 日の表示の点滅が止まり、表示窓の表示が時分表示になり、時の表示が点滅します。



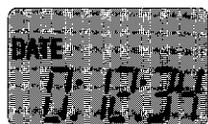
8 日と同じように、時の表示を合わせ、設定ボタンを押して決定する

- 時間はAM/PM (AMは午前、PMは午後) で表示されます。
- 正午は PM12:00、夜の12時は AM12:00となります。
- 時の表示の点滅が止まり、分の表示が点滅します。



9 時と同じように、分の表示を合わせ、設定ボタンを押して決定する

- 分の表示の点滅が止まり、ビデオカメラの中の時計が動き出します。
- 日時を合わせ終わると、表示窓のデジタル数字は、テープカウンターになり、左上に 'DATE' の表示がでます。



設定した日時を確認するには日時確認ボタンを押すと、設定した日付、時刻を約5秒間ずつ確認できます。修正するには、設定ボタンを押して合わせ直したい部分を点滅させ、または一ボタンで修正し、設定ボタンを押して決定します。

日付を記録したくないときはオートデートボタンを押し、表示窓から DATE 表示 (オートデート表示) を消します。もう一度オートデートボタンを押すと、DATE 表示がでて日時が記録されるようになります。

こんなときは

以下の処置をしても改善されない場合は、ビクターサービス窓口にご相談ください。

症 状	処 置	参 照 ページ
電源が入らない	バッテリーが充電されているか、確かめてください。 電源が正しく接続されているか、確かめてください。	6 7
撮影ができない	ツメなしテープで撮影していないか、確かめてください。 電源ダイヤルが「ビデオ」になっていないか、確かめてください。 電源ダイヤルを「カメラ」側に合わせてからスタート/ストップボタンを押してください。	9 11
液晶モニターに 画像が出ない	電源をもう一度入れ直してください。 液晶モニターの画面入/切ボタンを押してみてください。	—
画面入/切ボタンを押 しても画像が出ない	電源ダイヤルが「メッセージ」になっていないか、確かめてください。「メッセージ」の位置では、画面入/切ボタンは動きません。	19
ピントが合わない	レンズの前が汚れていると、ピントが合わないように見えます。付属のクリーニングクロスでよくふき取ってください。 単焦点レンズのため、望遠側で1.3m、広角側で40cmより近い被写体にはピントが合いません。	10
液晶モニターへの映像が 暗い、または白くなる	寒い所では液晶モニターの特性で暗く見えます。実際の色と多少異なりますが故障ではありません。 「明るさ」つまみや液晶モニターの角度を調節してみてください。 液晶モニターに使用している蛍光管の寿命が近づくと暗くなります。 こんなときは、お買い上げ販売店またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	—
液晶モニター裏側の 熱くなる	液晶モニター画面をつけておくと、画面を明るくするためのライトの関係で熱くなります。液晶モニターを切るか、電源を切ってしばらくすれば冷めます。	—
再生、巻戻し、早送り ができない	電源ダイヤルが「ビデオ」側になっているか確かめてください。 テープが早送り、巻戻しを完了していないか、確かめてください。	16
画面にノイズがでる	トラッキング調節をしてください。 ビデオヘッドが汚れ、または摩耗しています。クリーニングカセットTCC-2（別売）で清掃してください。	17
被写体に強い光が入る と縦に白い線が出る	大きなコントラストの違いによる現象で、故障ではありません。	—
レンズや液晶モニター の画面が、指紋などで 汚れてしまった	付属のクリーニングクロスで、あまり力を加えずに汚れをふき取ってください。また、かたい布などでこすらないでください。キズがついたり割れたりすることがあります。	—
液晶モニターに表示む らが出る	液晶モニターの表面やまわりを押すと、表示むらが発生します。 液晶モニターの特性上のもので、手を離せば元に戻ります。	—
液晶モニターに小さな 光る点や黒い点が出る	液晶モニターは非常に精度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。	—
テープは回っているが 再生しない	映像/音声入力端子付きテレビの場合は、テレビのチャンネルを「ビデオ」にしてください。（テレビのチャンネルがビデオ専用チャンネル1か2以外になっていませんか。）	24

症 状	処 置	参 照 ページ
画面がゆれる	スピーカーの音量が大きいと、画面がゆれることがあります。音量を小さくしてください。	—
テレビにつないでも映像がでない	入力/出力切換スイッチが入力になっているとテレビに映像は出ません。出力にしてください。	24
ファインダーと記録される映像が違う	ファインダーとレンズの位置が違うため、映像が多少ズれることがあります。液晶モニターを使って撮影してください。	—
電源ダイヤルを動かしたのに画面がでない	メッセージを録画、また再生し終わった状態で画面が切れているときに「メッセージ」以外に電源ダイヤルを動かしても画面は出ません。画面入/切ボタンを押してください。	19
メッセージ再生が動かない	電源ダイヤルを「ビデオ」にし、「巻戻しボタン」でテープを巻戻し、「再生ボタン」を押して再生してください。	16
テープを取り出せない	電源ダイヤルが「メッセージ」になっていると、テープを取り出すことはできません。「メッセージ」以外にしてください。	19
テープ表示が、点滅せずに突然点灯した	お使いになるテープによっては、テープが終わりに近くなっても表示が出ないこともあります。	35
テレビチューナーを使ったが、うまく動作しないまたは映像や音声が乱れる	電波の状況やアンテナの向きによって、オートプリセットやサーチができなかったり、映りや音が悪くなったりすることがあります。また画面が不安定だったり、表示が見えなくなることがありますが故障ではありません。電波の弱いところでは、アンテナを調節しても画や音声が乱れることがあります。ACパワーアダプターを使っているとき、画や音にノイズが入ることがあります。こんなときはACパワーアダプターの電源コードと、ムービーやアンテナ端子ケーブルを離して御使用ください。	—
テレビチューナーを使っての録画ができなかった	電波の状況によって、録画中、画がでていても、再生したとき映像や音声が乱れたり、記録されていないことがあります。	—
オートプリセットがうまくいかない	同じ場所でオートプリセットを繰り返しても、状況によって電波の弱いチャンネルが記憶されたりされなかったりすることがあります。	—
日付が記録されない	表示窓に「DATE」の表示が出ていないと、日付は記録されません。オートデートボタンを押して、「DATE」の表示を確認してから撮影してください。	31
画面や表示窓に見えないマークが出た	画面と表示窓の、一覧をご覧ください。	35

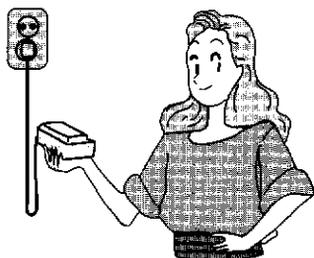
このビデオカメラはマイコンを使用しています
雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そのときはビデオカメラから電源（バッテリー、ACパワーアダプターなど）およびリチウム電池を一度外してしばらく置き、改めてご使用ください。

海外でお使いになるには

このビデオカメラは海外でもお使いになれます

ACパワーアダプター（別売）は、海外でもバッテリーの充電ができます。ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので訪問国のコンセントに合った変換プラグ（空港売店で販売）が必要です。くわしくはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。 主に北米、南米など		主にオーストラリア	主にヨーロッパ	



現地のテレビで見るには
NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。

再生できるテープは
日本と同じNTSC方式で撮影したものです。

テレビチューナーについて
海外と日本では、放送局から送られてくる電波が違いますので、付属のテレビチューナーは使えません。



海外で万一故障した場合は
お持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。
(海外でのアフターサービスについては、ご容赦ください。)

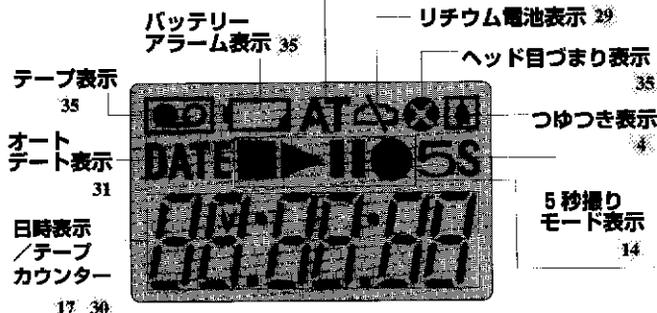
日本と同じNTSC方式の国です

- ◆アメリカ合衆国
- ◆ニカラグア
- ◆ハイチ
- ◆エクアドル
- ◆パミュエダ
- ◆パナマ
- ◆エルサルバドル
- ◆プエルトリコ
- ◆バハマ
- ◆カナダ
- ◆ベネズエラ
- ◆バルバドス
- ◆キューバ
- ◆ペルー
- ◆ミャンマー
- ◆グアム
- ◆米領サモア
- ◆ベトナム
- ◆韓国
- ◆ボリビア
- ◆フィリピン
- ◆チリ
- ◆グアテマラ
- ◆ホンジュラス
- ◆ドミニカ
- ◆コスタリカ
- ◆ミクロネシア
- ◆トリニダード・トバゴ
- ◆コロンビア
- ◆メキシコ
- ◆スリナム
- ◆台湾



画面と表示窓

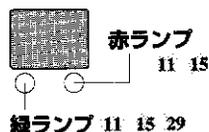
表示窓



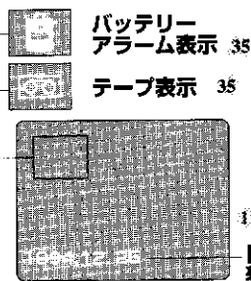
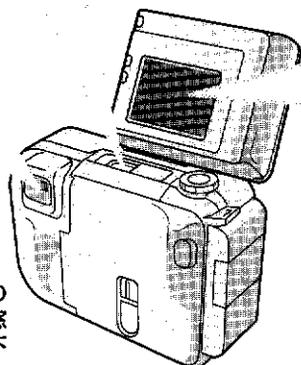
操作表示 11 ~ 16

- 停止 (点滅時は撮り直し)
- ▶ 再生
- ▶▶ ブランクサーチ (点滅時は)
- || 一時停止
- ||● 撮影一時停止 (点滅時はクイックレビュー)
- 録画

ファインダー



液晶モニター画面

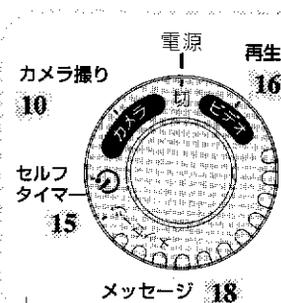
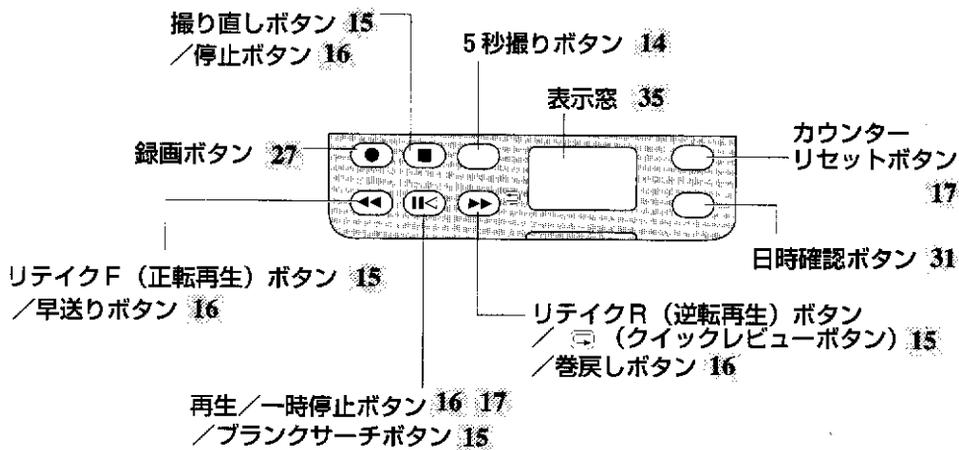


ファインダー内の緑ランプの点滅は警告表示です。表示窓や液晶モニターの画面に、下記のマークが表示されます。

表示		表示名と説明	表示		表示名と説明
表示窓	画面		表示窓	画面	
	表示 しません	リチウム電池 (時計用電池) 表示 29 電池が入っていないか容量がなくなっています。		表示 しません	ヘッド目づまり表示 録画開始時、ヘッドにゴミ付 きが発生し記録できない恐れ があるときに表示します。ク リーニングカセットで清掃す るか、お近くのビクターサー ビス窓口にご相談ください。
		バッテリーアラーム表示 バッテリーの充電容量が少 なくなっています。			テープ表示 テープが終わりに近づくと点 滅します。終わってしまうと 表示窓の表示は点灯し、画面 上の表示は消えます。
	表示 しません	つゆつき表示 4 つゆつきが発生しています。 (添付の“大切な記録のため に”をご覧ください。)			

各部のなまえ

※ はページを示します。

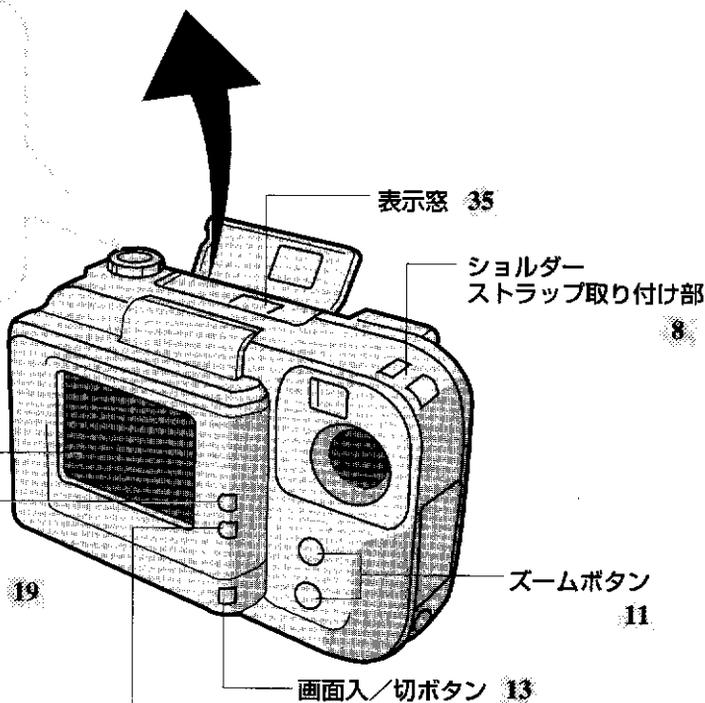


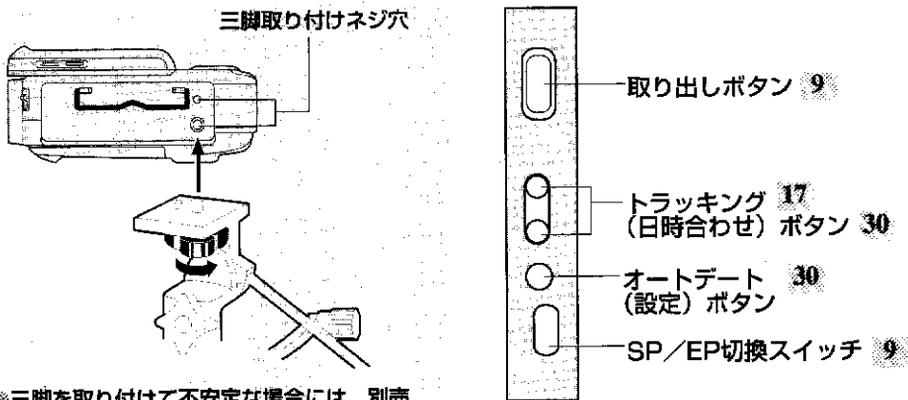
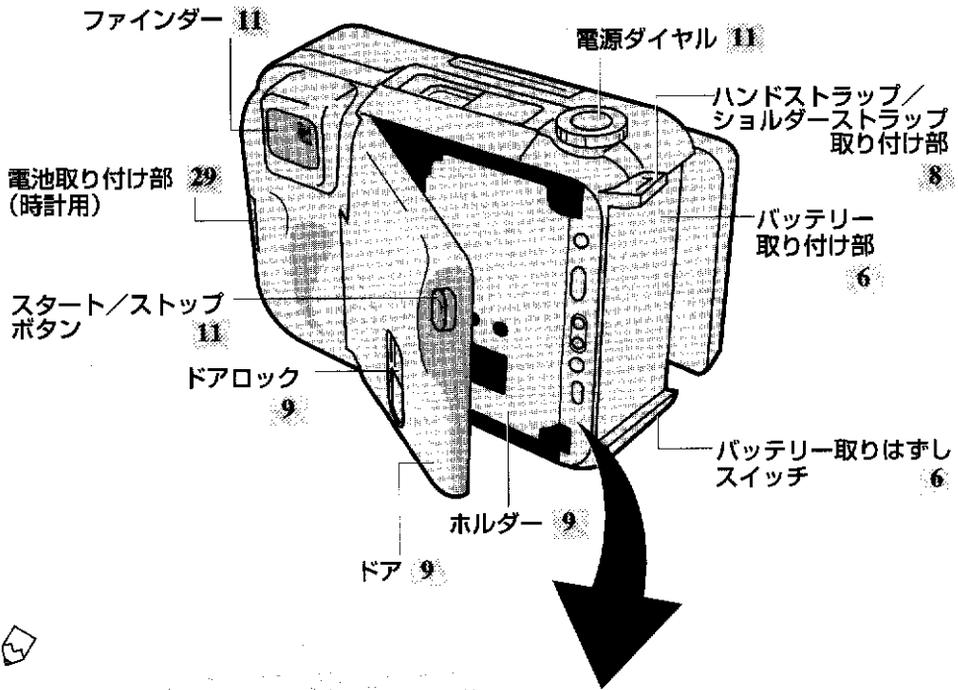
電源ダイヤル

液晶モニター 13

メッセージ再生ボタン 19

メッセージ録画ボタン 18

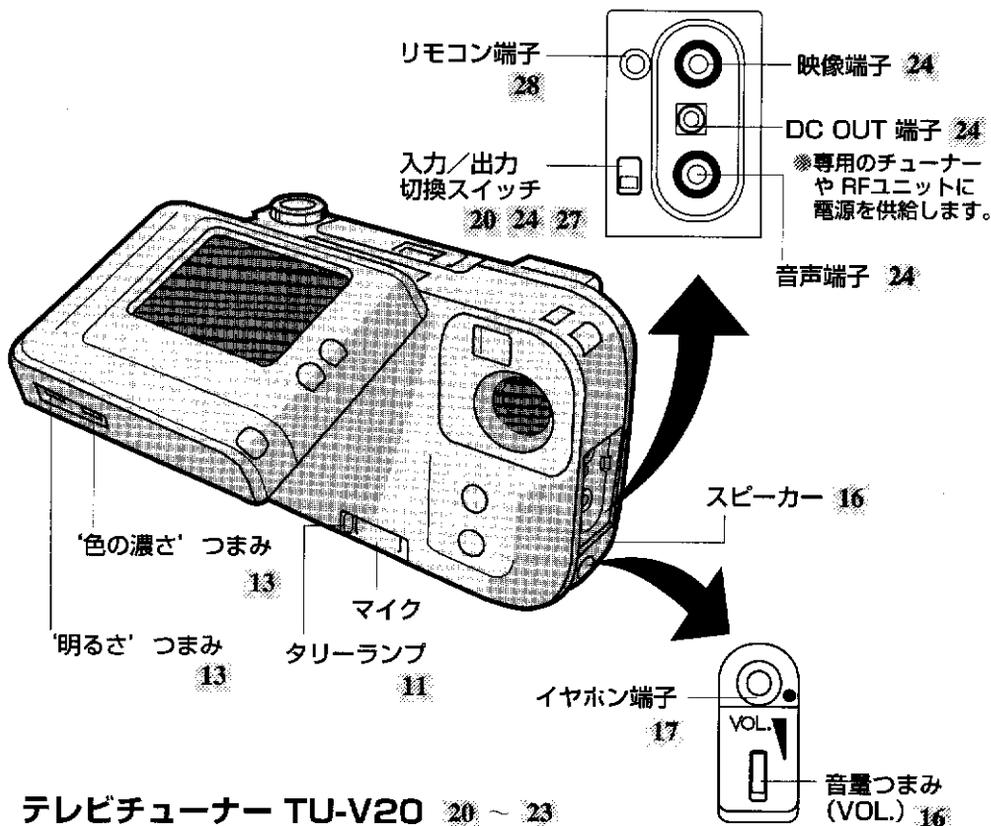




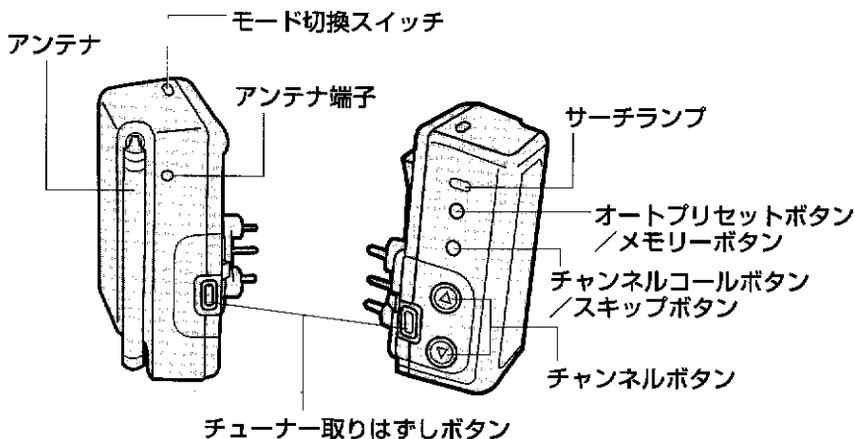
※三脚を取り付けて不安定な場合には、別売の取り付けアダプター (CU-V420J) をご使用ください。

各部のなまえ (つづき)

はページを示します。



テレビチューナー TU-V20 20 ~ 23



主な仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ビデオカメラ

電源	: DC6V
消費電力	: 5.3W (液晶モニター切) 8.0W (液晶モニター入)
信号方式	: NTSC日米標準信号
録画方式	: VHS 規格
使用テープ	: VHSII (S-VHSII) マーク付のもの
テープ速度 (SP)	: 33.4mm/秒
(EP)	: 11.1mm/秒
録画時間 (SP)	: 約30分 (TC-30使用時)
(EP)	: 約90分 (TC-30使用時)
早送り・巻き戻し時間	: 約5分 (TC-30使用時)
撮像素子	: 1/4インチCCD
レンズ	: f=4~12mm F2.8 3倍ズーム ハンフォーカス
液晶モニター	: 3インチ 透過型液晶パネル
ファインダー	: 実像式ズームファインダー
最低照度	: 20 lx
白バランス調整	: 自動
アイリス	: 自動
映像入力	: 0.5~2.0Vp-p(75Ω不平衡)
音声入力	: -8dBs(ハイインピーダンス)
映像出力	: 1Vp-p(75Ω不平衡)
音声出力	: -8dBs(Low)
スピーカー	: 20mm×1 モノラル
イヤホン端子	: 3.5φ モノラル
許容動作温度/相対湿度	: 0°C~+40°C/35%~80%
許容保存温度	: -20°C~+50°C
外形寸法	: (幅) 172×(高さ) 120×(奥行き) 82mm
質量	: 撮影時総質量 約 1,080g { バッテリー-BN-V12 カセットテープTC-30 ハンドストラップ サンフード含む 本体約830g }
付属品	: 映像/音声コード×1 リチウム電池(CR2025)×1 ハンドストラップ×1 サンフード×1 クリーニングクロス×1 テレビチューナー(TU-W20)×1
(リチウム電池は取り付け済みです。)	

テレビチューナー

電源	: DC5V
消費電力	: 0.8W
信号方式	: NTSC日米標準信号
受信チャンネル	: VHF1~12 チャンネル UHF13~62 チャンネル
アンテナ	: UHF/VHF ロッドアンテナ 650mm
アンテナ入力端子	: 3.5φ U/V混合75Ω
許容動作温度/相対湿度	: 0°C~+40°C/35%~80%
許容保存温度	: -20°C~+50°C
外形寸法	: (幅) 50×(高さ) 101×(奥行き) 62mm (ピン部除く)
質量	: 約120g

バッテリーについて

充電/リフレッシュ時間

バッテリー	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約1時間10分	約3時間30分
BN-V15	約1時間25分	約5時間
BN-V22	約2時間10分	約7時間
BN-V25	約2時間40分	約10時間
BN-V50	約2時間50分	約8時間30分
BN-V65	約2時間10分	約7時間

ACパワーアダプターAA-V11 (別売) 使用の場合

連続撮影時間

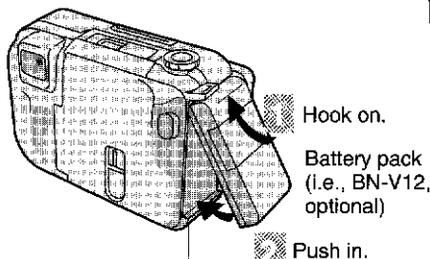
バッテリー	撮影時間	
	液晶モニター切	液晶モニター入
BN-V12	約 70分	約 45分
BN-V15	約 95分	約 65分
BN-V22	約140分	約 95分
BN-V25	約200分	約130分
BN-V50	約170分	約115分
BN-V65	約140分	約 95分



使用するバッテリーは6Vです。
BN-V12、V15、V22、V25、V65はニッケル水素電池、BN-V50はニッケル水素電池です。

ENGLISH QUICK OPERATION GUIDE

SUPPLY POWER



“バッテリー取りはずし”
(BATTERY RELEASE)

A. Using the battery pack

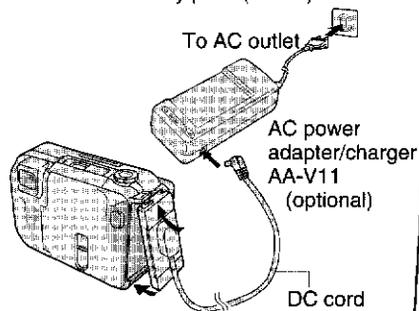
- ❑ Hook-on the battery pack's top end to the camcorder.
- ❑ Push in the battery pack in until it locks into place.

To remove the battery pack

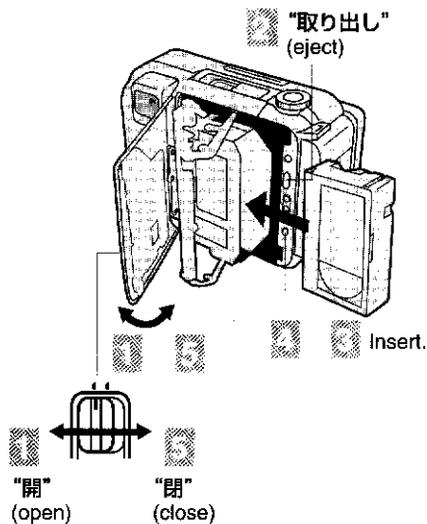
Slide “バッテリー取りはずし” (BATTERY RELEASE) and pull out the battery pack.

B. Using the AC Power adapter/charger

To attach the DC cord to a camcorder:
Same as the battery pack (above).

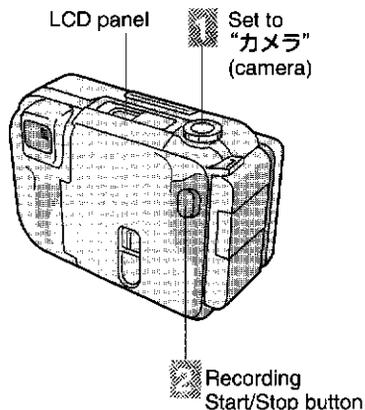


INSERTING A VIDEO CASSETTE



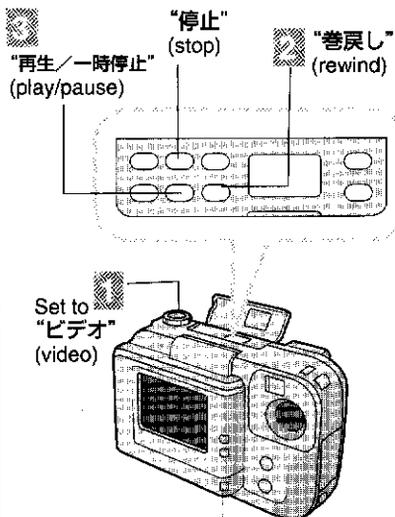
- ❑ Slide the cassette cover latch to “開” (open).
- ❑ Press “取り出し” (eject).
- ❑ Insert a video cassette.
- ❑ Set SP/EP as required.
- ❑ Close the cassette cover and slide the cassette cover latch to “閉” (close).

SHOOTING



- ❏ Set the power switch to “カメラ” (camera).
— The indicators appear on the LCD panel.
- ❏ Press the Recording Start/Stop button.
— Recording Starts.
- ❏ To stop recording temporarily, momentarily press the Recording Start/Stop button once again.

PLAYBACK



- ❏ Set the power switch to “ビデオ” (video).
- ❏ Press “巻戻し” (rewind).
— The tape will automatically stop at the beginning of the tape.
- ❏ Press “再生/一時停止” (play/pause).
— Playback starts, and playback picture appears on the LCD monitor or on the TV connected to the unit by the AV cable.
- ❏ To stop playback, press “停止” (stop).

Or simply play back the tape on a VHS/VCR using the Cassette Adapter C-P6 (optional).

索引

五十音順

ア

イヤホン 17
液晶モニター 13
液晶モニター画面 35
オートプリセット 21

カ

カウンター 17
カセットアダプター 17
カーバッテリーチャージャー (別売) 7
クイックレビュー 15
誤消去防止 9
5秒撮り 14

サ

撮影一時停止 11
撮影の確認 15
サーチ 22
サンフード 8
スピーカー 16
ズームボタン 11
ショルダーストラップ 8
セルフタイマー 15

タ

ダビング 25
タリーランプ 11
つゆつき 4
テープについて 9
テープを入れる 9
テレビで見る 24
テレビ放送を見る 20
電源 (コンセントで) 7
(車で) 7
(バッテリー) 6
トラッキング 17
撮り直し 15
撮る姿勢 10

ナ

日時合わせ 30
ノイズが出たら 17

ハ

バッテリー 6
バッテリーアラーム 35
ハンドストラップ 8
表示窓 35
ブランクサーチ 15
ファインダー 35
ヘッド汚れ (添付の“大切な記録のために”参照)

マ

メッセージ 18

ラ

リテイク 15
リチウム電池 29
リモコン 28
録画方式 34

別売品

ACパワーアダプター (別売) 6
RFユニット (別売) 24
SP / EPモード 9

必ずお読みください

保証書 別途添付しています。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ビデオカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

修理を依頼されるときは（持込修理）

32、33ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	VHS液晶付ビデオカメラ
型名	GR-SV3
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	

愛情点検

●長年で使用するビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なう事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか？

- 再生しても映像や音が出ない。
- 異常な臭いや音がある。
- 水や異物が入った。
- その他の異常な故障がある。



ご使用
を
中
止

事故や事故防止のため、
電源を切り、必ず販売店
に点検をご相談ください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

後日のために記入しておいてください

型名

GR-SV3

お買い上げ日

年 月 日

お買い上げの販売店

電話 () -

お近くのビクターサービス窓口

電話 () -

アフターサービスのお問い合わせ先

転居、ご贈答などアフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧ください。32、33ページもお読みください。

お客様ご相談センター

東京

☎ (03) 5684-9311

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪

☎ (06) 765-4161

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



JVC

日本ビクター株式会社

ビデオ事業部